

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	真島 持田
全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4129 狂犬病予防対策事業										
所 属	140100 環境部・生活環境課										
施 策	03011100 環境を守る活動の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費									
	事業	070000 狂犬病予防対策事業									
事業目的						事業概要・効果					
飼犬の狂犬病予防注射の実施を確実にいき、狂犬病の予防に努める。						登録犬の狂犬病予防注射業務を委託するなど適正な飼育犬の管理を行う。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
登録頭数 2745頭 未注射犬 26頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施	登録頭数 2653頭 未注射犬 21頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施
平成26年度 予定	平成27年度 予定
登録頭数 2600頭 未注射犬 20頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施	登録頭数 2500頭 未注射犬 15頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施

指標名	未注射犬						
算式						単位	頭
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	35	30	25	20	15	
	実績	16	26	21			
指標選定の理由	狂犬病の予防に努めるため。						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		516	587
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	497	587
一般財源		19	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		516.0	587.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	516	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	429	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	60	
その他	98	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	狂犬病予防法に沿って実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	獣医師と連携を密にして効率よく実施。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	飼犬者負担により実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須高獣医師会と連携し、予防接種の接種率を高め、狂犬病のリスクをなくすことが大切。また、飼犬の適正な飼育方法の啓発を行うことが大切。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>狂犬病予防法に基づく事業で必要不可欠である。予防接種率の向上、飼育方法の啓発等について須高獣医師会など関係団体との連携が必要である。</p>		<p>安心安全な市民生活を維持するために必要な基礎的事業。獣医師会の協力を得て、地道な努力が続けられている。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	